# 収益性の高い水田農業技術の開発

水田利用研究室

## 平成26年度の主要研究課題の概要

### ・水稲新品種「ふくまる」、「一番星」の高品質安定栽培技術の開発（平成24～26年度）

「ふくまる」については、全量基肥による栽培技術を開発します。「一番星」については8月15日前の出荷が可能となる極早期収穫栽培技術を開発します。

### ・黒点米発生要因の解明と抑制技術の開発（平成24～27年度）

黒点米の発生要因ならびに発生メカニズムを解明し，発生を抑制するための効果的な栽培技術および管理技術を開発します。

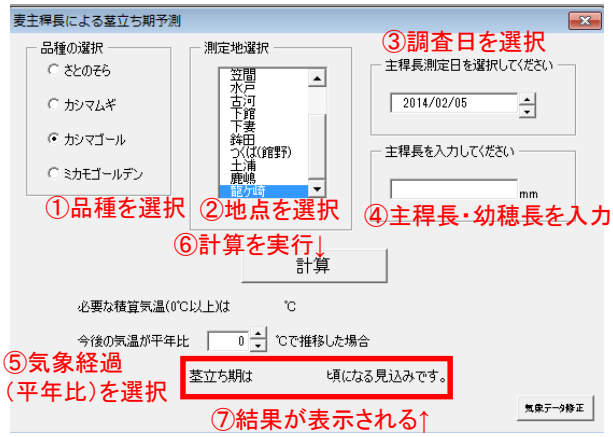
### ・大豆有望品種の高品質安定栽培技術の開発（平成26～28年度）

「里のほほえみ」の品種特性を生かした高品質安定栽培技術を開発します。

## 主　要　な　研　究　成　果

### ・六条大麦「カシマゴール」の出芽期，茎立ち期，出穂期，成熟期予測法と小麦「さとのそら」の主稈長による茎立ち期、幼穂長による出穂期予測法(平成25年度)

適期に栽培管理を行うための各生育ステージ（出芽期，茎立ち期，出穂期，成熟期）の予測技術を確立しました。




茎立ち期・出穂期予測のための表計算ソフト用ファイル操作画面

### ・水稲新品種「一番星」の認定品種採用（平成24年度）

本県育成の「一番星」を認定品種として採用しました。「一番星」は極早生，良食味で耐冷性および高温耐性（高温下でも白未熟粒が発生しにくい性質）の強い品種です。

一番星

あきたこまち

一番星の立毛状況

## 今　後　の　方　向

1. 消費者および実需者ニーズや気象変動に対応した水稲の高品質栽培技術を開発します。
2. 県南地域に適した極早生水稲品種や転換畑に適した麦類・大豆の奨励品種を選定します。
3. 水田高度利用のため，麦類・大豆等の高品質安定栽培技術を開発します。